

新年 明けましておめでとうございます

好天に恵まれ、穏やかに始まった令和3年。コロナ禍の中で、各地の初詣もこれまでとは違った様子をテレビで見ました。例年よりも自宅で過ごすことの多かった年末年始でしたが、大きな事件や事故がなかったのが幸いです。このまま平穏な一年であれば、何と素晴らしいことでしょうか。



明けましておめでとうございます。皆様、どのような新年を迎えられたでしょうか。今年「丑年」。ゆっくりでも確実なあゆみを見せる年でありたいと願っています。令和2年の様々な出来事とおして、学校経営も大きな転換期を迎えました。これまで当たり前に行ってきたことを見直し、より効果的で質の高い教育活動を提供できるように新たなチャレンジを始めます。皆様のご理解とご協力を賜りますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

校長 末廣 恭雄

1月の目標 給食に感謝して食事をしよう

今月の目標は、「給食に感謝して食事をしよう」です。

学校給食は、明治22年に始まりました。一時中断の後、戦後の食糧難による子どもの栄養状態の悪化にともない、昭和22年アメリカから物資の寄贈を受けて再開しました。そして、12月24日のこの日を「学校給食感謝の日」と決めました。

昭和25年から、冬休みと重ならない1月24日から1月30日までを「学校給食週間」とし、全国各地で給食への感謝を表すイベントが行われています。「給食は単なる食事ではない」ことは、



この通信10月号でもお伝えしました。学校給食が子どもたちの食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために、「食育」という重要な役割を果たしていることを考える月でもあります。